

WIND OF KOBE!

第752号

神戸運輸監理部情報

令和2年12月1日

国土交通省 神戸運輸監理部



今月の監理部情報・目次

- ◆「しあわせの村」でバリアフリー教室を開催しました 2
- ◆運航管理者及び乗組員研修会を開催しました 4
- ◆C to Sea プロジェクト ご当地アンバサダーKRD8 が
坊勢島・家島をレポート! 6
- ◆動画配信第2弾! 9
- ◆主要業務指標 10
- ◆船員職業紹介状況 11
- ◆管内新造船手持ち工事量 12
- ◆倉庫業の新規登録 13
- ◆倉庫業の変更登録 14
- ◆12月の行事予定 15
- ◆11月の記者発表状況 16

フォトミュージアム

奈良・吉野の紅葉

サブタイトル「WIND
OF KOBE!」は、湧き起
こる風の清新さをイメー
ジしています

神戸運輸監理部 総務課編集

◆「しあわせの村」でバリアフリー教室を開催しました！

神戸運輸監理部交通環境室は、高齢者や障害者の擬似体験や介助体験を通じて、バリアフリーへの理解を深めるとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者や障害者に対して自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」を推進するため、「バリアフリー教室」を随時開催しています。

今回は、令和2年11月1日（日）に神戸市北区の「しあわせの村」において開催された「第31回こうべ福祉・健康フェア」にブースを出展し、「バリアフリー教室」を実施しました。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、エリア内の人数制限や最大滞在時間を2時間とする入れ替え制、体験後の消毒等を実施した上での開催となりました。



当日は、「車いす自走・介助体験」、「視覚障害者擬似体験」を行い、子供から大人まで幅広い年齢層の多くの方々にご参加いただき、一部の体験では順番待ちの列ができるなど大盛況となりました。



「車いす自走・介助体験」では、車いすの基本的な操作方法、介助時の注意点などを職員が説明した後、実際に体験することで車いすの安全な使い方や困っている利用者への介助方法等について理解を深めていただくことができました。

体験者からは「一人では芝生の起伏も超えるのが難しいので、介助の重要性を実感した」という声もありました。



「視覚障害者擬似体験」では、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の意味や白杖の使い方の説明を行った後、アイマスク・白杖を使用して実際に歩いていただきました。

広場を白杖だけで歩くのは難しかったようで、アイマスクを外した後に「思った場所とは違うところにいる」と驚いた方もおられました。

また、白内障や視野狭窄体験用の特殊な眼鏡で配色の違うポスターを見ていただきました。色の違いによる見づらさを実感した方は、「あっちは見えるけれど、こっちは見えない！」という声を上げていました。

この経験を通じて、街の中の配色は考えられて決められているということを実感していただきました。

今後も、「バリアフリー教室」を通じ、気軽に「お手伝いしましょうか」と声かけができる人を増やし、「心のバリアフリー」の推進を図っていきます。

（企画推進本部 交通環境室）

◆ 運航管理者及び乗組員研修会を開催しました

神戸運輸監理部では11月5日（木）、神戸旅客船協会と共催で「運航管理者及び乗組員研修会」を開催しました。当日は神戸管内の旅客船事業者を中心に52名の参加がありました。本年は「荒天時の走錨事故防止」をテーマとし、気象災害が激甚化する傾向にある中、荒天時の走錨により重要施設等に甚大な被害をもたらすような事故を未然に防止し、国民生活の安全・安心の確保を図ることを目的とするほか、船員法第118条の2に基づく乗組員の教育訓練としても実施しています。



講義①は、運輸安全委員会事務局の平野神戸事務所長による『非常に強い台風時の走錨による事故防止対策について』についての講演です。運輸安全委員会では過去の台風時のAISデータや錨泊方法（錨鎖の長さ・風速）、機関使用状況、錨地の選定等の状況を分析しており、その分析結果に基づき、走錨が始まった後の船体制御は非常に困難であることから、走錨防止のためのポイントについて説明いただきました。

講義②は、第五管区海上保安本部の谷岡専門官による『走錨事故防止ガイドライン』についての講演です。ガイドラインは国土交通省海事局及び海上保安庁が走錨事故防止のため、船舶を運航する船長、運航管理者等が考慮すべき事項等を取りまとめたもので、ガイドラインを活用することで効果的な周知・啓発を図ることを目的に策定されています。また、走錨海難防止のための航行ルールとして、今回の参加事業者に関連する大阪湾における海上交通安全法に基づく「航行制限」、港則法に基づく「錨泊自粛勧告」についても説明いただきました。



講義③は、神戸運輸監理部の小寺運航労務監理官による『旅客船の安全運航について』についての講演です。本講義は船員法に基づく5年ごとの乗組員に向けた教育訓練として実施するもので、非常時の旅客誘導にかかる内容を中心に非常時を想定した操練や救命設備点検等、日々の船内での取組みの重要性について説明を行いました。さらにカーフェリー事業者に向けて、旅客船の設備・特性の理解を深めること、気象海象情報に対し適切な措置を取ること、非常事態の未然防止及び早期発見の重要性についての説明も行いました。

参加者へのアンケート結果では、「参考になった」との回答が多かったほか、今後希望するテーマとして「急病人対応」「クレーム対応」等の意見もあり、次回以降のテーマ設定に役立てたいと思います。

今回のテーマである走錨はどれだけ準備をしても、起こりうる可能性のあるものなので、各講師より説明のあったポイントをもとに万全の準備・体制を取っていただき少しでも事故の未然防止に繋がれば幸いです。最後になりますが、ご講演いただいた平野様、谷岡様に対し、厚く御礼申し上げます。

（海上安全環境部運航労務監理官）

◆C to Sea プロジェクト ご当地アンバサダー
KRD8 が坊勢島・家島をレポート！

昨年7月より「C to Sea プロジェクト」のご当地アンバサダーとして活動に協力いただいている KRD8 のメンバーに、「坊勢島」と「家島」の魅力を発信してもらうべく様々なリポートに挑戦してもらいました。

【坊勢島編】

11月9日、KRD8 のメンバーから5人が参加し、姫路港ポートターミナルに集合。ターミナル前で、現在、企画課主体の調査事業で社会実験を行っている、バスと乗船券がセットになった「しま遊びきっぷ」のPR動画を撮影（PRの様子は神戸運輸監理部 YouTube チャンネルとツイッターで配信中）。その後、坊勢輝汽船の「ぼうぜ2」に乗って坊勢島へ。

午前中は、海の魅力を身近に感じてもらう釣り体験をしました。スタッフの手厚いサポート（？）により、餌にも魚にも全く触ることなく、ひたすら釣りを楽しみました。釣果は・・・、サイズはどうあれ、全員何かしら釣ることができたので、スタッフも一安心。まだまだ釣り足りない一部メンバーもいる中、あっという間に時間はお昼を迎え終了。昼食場所の「みなと旅館」に移動し、海の幸満載のメニューを堪能。

午後からは、坊勢島の最高峰「かしわの山山頂展望台」へ。標高100mながら、周辺には景色を遮るものがなく、まさに360°見渡す限りの大パノラマ。当日は空気も澄んでおり、明石海峡大橋と鳴門大橋を同時に見ることができました。

次に向かったのが、「西浦漁港」。ここの浮桟橋は、日本で2番目に長く全長130m。では1番はというと、呉港にある海上自衛隊の艦艇が着桟する桟橋で420mあるそうで、民間ではここの桟橋が一番長いそうです。



本日の釣果を披露！

（左から、渡辺葉月さん、宮脇愛さん、宮脇舞依さん、天野凜さん、石川夏さん）



願い事は何かな？

（恵美酒神社）

続いては、坊勢島の旅客船乗り場からも見える赤い橋が架かった「弁天島」に移動し参拝。その後、「恵美酒神社」に向かい、再び参拝し、メンバー思い思いの願い事を祈りました。（メンバーは神社での手水と参拝の作法に苦戦するも、人生経験豊富で礼儀作法を重んじる（？）スタッフ数名から手ほどきを受け滞りなく参拝、これで願いは叶うはず・・・）



皆さんもぜひ坊勢島へ！
(姫路港)

一行は、島内スポットを巡り終え、奈座港へ。帰りの旅客船出発までの時間、ターミナル内の売店で各々土産物を物色しつつ、名物(?)の自分で盛るソフトクリームも堪能し、メンバー一同ご満悦。そうこうしているうちに出発時間となり、坊勢輝汽船の「はるか」に乗船。船内では今日一日の出来事を語り合ったり、外の景色を眺めたり、と思いきや、ほとんどのメンバーが爆睡状態。きっと、あまりの楽しさに疲れも忘れていたのが、船の適度な揺れと、

撮影されない緊張感から解放されて一気に眠りに落ちたのではないのでしょうか。

下船後は、同行いただいた神戸新聞の記者の取材を受け、一日の行程は、無事終了しました。ちなみに、釣り体験で釣った魚は、メンバーの一人が自宅へ持ち帰りました。

【家島編】

11月16日は、KRD8のメンバー4人で「しま遊びきっぷ」を利用して家島まで行きました。姫路駅にて「しま遊びきっぷ」をPR後、神姫バスに乗り、姫路港で高速いえしまの「まうらⅡ」に乗船し、家島へ。

昼食は「料理旅館おかべ」に行き、それぞれ事前に注文していた料理を堪能していました。

もしかすると、普段は聞くことができないアイドルならではのマル秘話など耳にできるかと少し期待していたのですが、終始黙々とご飯を食べていました…。それだけ家島で食べる魚は美味しかったのでしょう。



「しま遊びきっぷ」で行ってきま〜す！（左から、桃華りささん、宮脇愛さん、宮脇舞依さん、菅原末結さん）

(姫路駅)



あまりのおいしさに会話も少なめ…



それメッチャおいしかったよ！



急勾配で後ろを向けない！

(家島神社)

昼食後は、レンタル自転車で家島島内を散策しました。

まずは、神武天皇が即位前に祈願されたと伝わる「家島神社」へ。平安時代、かの菅原道真公も左遷により太宰府に向かう途中に参拝されたと伝えられており、メンバーもそれぞれ参拝しました。何をお願いしたのか聞いても、「言うのと叶わない！」とのことで教えてもらえず。きっと家島の魅力がもっと多くの人に伝わるようにと祈願してくれたに違いありません。

家島神社で参拝後は「監館眺望」(海上警備のために江戸幕府が設けた見張所からの眺めのことを言う)へ。さらに監館眺望は、家島十景という瀬戸内海の家島諸島にある10の景勝地の内の1つにも数えられています。(メンバーの皆さんもここで写真をたくさん撮っていました。)



おいでよ！家島へ！

(監館眺望にて観光PRポスター風)

今回の家島レポートではその他にも、白い砂浜で海水浴場となっている「清水の浜」や、樹齢1,000年を超えるとされる御神木がある「宮浦神社」、船舶関係の就業者が正月2日に乗り初めと称して参拝してから初出する「真浦神社」、岩が亀の形をしており水神・水天宮として地元の信仰を集めている「どんがめっさん」などを訪れ、帰りは高福ライナーの「高福ライナー」に乗船し、バスを乗り継ぎ姫路駅まで帰ってきました。

途中にレポートそっちのけで野生の猫に夢中になり写真を撮る場面や、逆に彼女たちの笑顔をカメラに納めようと砂浜で監理部職員による撮影会なども行われましたが、それも良い思い出となっているはずです。今回訪れた場所以外にも家島の魅力的な食やスポットがあるので、一度も行ったことない方はもちろん、何度も行っている方にも改めて家島を訪れて頂きたいです。

なお、今回のレポート実施にあたりまして、全面協力をいただきました、坊勢輝汽船(株)、輝観光、(有)高福ライナー、高速いえしま(株)、(一社)家島観光事業組合の皆様に変に感謝いたします。

これからも、KRD8の皆さんの力も借りながら、多くの人に海や船がさらに「楽しく身近になる存在」となるよう、様々なかたちで情報発信していきたいと思います。

なお、この紹介レポートの様子は、神戸運輸監理部のYouTubeチャンネルで配信しますので、楽しみに。

(広報対策官、姫路海事事務所)

◆動画配信第2弾！

神戸運輸監理部は今夏、関係者の協力を得て海事関係等表彰受賞者の紹介や（公社）神戸海事広報協会と連携して、海・船・港を身近に感じてもらえる動画を YouTube で配信しました。

以降も新型コロナの第2波、第3波の到来で、イベント中止あるいは開催制限となっている中、10月に感染予防対策を講じて「関西フローティングボートショー2020」（主催 （一社）日本マリン事業協会関西支部）が新西宮ヨットハーバーで開催されました。管内で久しぶりのイベント開催なので、何かできないかと有志で検討した結果、昨年から海や船を身近に感じてもらう活動（「C to Sea」プロジェクト）のご当地アンバサダーとして協力してくださっているアイドルグループ「KRD8」にボートの操縦やクルージングを体験していただき、その様子を職員が撮影・編集し、YouTube で配信しました。

さらに、姫路港から家島・坊勢島へ就航している旅客船の利用促進調査事業の社会実験として10月16日から発売している「しま遊びきっぷ」（神姫バス（株）姫路駅前案内所で本年12月末まで発売中）のPRをかねて、KRD8メンバーが島の観光スポットをめぐる動画を配信します（坊勢島は11月26日に配信済み）。

ぜひ、この機会に神戸運輸監理部の YouTube 動画をご覧いただけると大変うれしく思います。

私たちは、身近にある家庭用ビデオカメラで素人ながら撮影・編集したものを配信しているため、お見苦しい点が多々ございますが、今後も広く活用し、発信してまいります。



←QRコード



←QRコード



←QRコード



行こうよ
家島へ
(12月上旬配信)



↑ 神戸運輸監理部
ツイッターRQコード



↑ YouTube
神戸運輸監理部チャンネル
RQコード

よろしければ神戸運輸監理部
チャンネルをご登録ください。
あわせてツイッターもどうぞ。



（総務企画部 広報対策官）

◆ 主要業務指標

(令和 2 年 1 1 月)

		実 績	前年同月比
1. 管内発着フェリー・旅客船方面別輸送量 (令和2年9月分)	九 州	2 2, 2 9 2 人	5 5. 8 %
	方 面	2 6, 3 2 7 台	8 6. 3 %
	淡路四国	7 4, 0 6 7 人	7 0. 3 %
	方 面	1 8, 3 6 4 台	8 2. 7 %
2. 神戸港起点遊覧船乗船者数 (令和2年9月分)	総 数	1 6, 5 8 6 人	3 8. 6 %
	内：レストランシップ [°]	6, 6 2 6 人	2 8. 7 %
3. 神戸港内貿貨物量【速報値】 (令和2年6月分)	純 内 貿 貨 物 量 (フェリー貨物除く)	4 4 2 千ト [°]	7 6. 6 %
	中 継 貨 物 量	4 3 5 千ト [°]	8 6. 3 %
4. 神戸港コンテナ船入港隻 (令和2年6月分)		3 3 6 隻	1 0 0. 0 %
5. 神戸港外貿コンテナ貨物取扱量【速報値】 (令和2年6月分)	総 量	1 7 0, 1 7 4 TEU	9 1. 0 %
	内：トランシップ [°] 貨物	8 4 3 TEU	1 3 2. 8 %
6. 神戸港港湾労働者数【速報値】 (令和2年10月末現在)	総 数	5, 5 1 6 人	1 0 0. 2 %
	内：船 内	1, 1 8 6 人	1 0 1. 1 %
	内：沿 岸	3, 5 1 1 人	1 0 0. 9 %
7. 神戸市内倉庫貨物入庫量 (令和2年9月分)	普 通 倉 庫	4 6 7 千ト [°]	9 8. 7 %
	冷 蔵 倉 庫	8 3 千ト [°]	9 7. 3 %
8. 神戸市内倉庫貨物保管残高 (令和2年9月分)	普 通 倉 庫	9 6 2 千ト [°]	1 0 0. 2 %
	冷 蔵 倉 庫	1 7 3 千ト [°]	9 8. 7 %

(注) ① 3. の中継貨物量は、神戸港輸入貨物を国内他港へ移出したものの及び神戸港輸出貨物で国内他港から移入したものである。

② 5. のトランシップ貨物は、外航船で輸送して来た貨物を神戸港で他の外航船に積み替えて輸送したものである。

③ 3. 4. 5. の資料出所は、神戸市港湾局であり、6. の資料出所は、神戸公共職業安定所神戸港労働出張所である。

④ 7. 8. の資料出所は、兵庫県倉庫協会及び兵庫県冷蔵倉庫協会である。

(総務企画部企画課、海事振興部旅客課、貨物・港運課)

◆ 船員職業紹介状況（令和２年１０月）

最近３か月間の船員職業紹介実績表

（単位：人）

区 分	月 別	令和２年	令和２年	令和２年
		８月	９月	１０月
合 計	求 人 数	３１	１０	３３
	求 職 数	１４	１２	２５
	求 職 者 成 立 数	５	１	５
外 航 船	求 人 数	０	０	０
	求 職 数	０	０	０
	求 職 者 成 立 数	０	０	０
内 航 船 （旅客船を含む）	求 人 数	３１	１０	３３
	求 職 数	１１	１２	２１
	求 職 者 成 立 数	５	１	５
その他船舶 （曳船・作業船等）	求 人 数	０	０	０
	求 職 数	３	０	３
	求 職 者 成 立 数	０	０	０
漁 船	求 人 数	０	０	０
	求 職 数	０	０	１
	求 職 者 成 立 数	０	０	０
有効求人倍率（倍）		１．４０	１．２２	１．１５

最近３か月間の船員の失業給付金支給実績

月 別	令和 2 年	令和 2 年	令和 2 年
区 分	8 月	9 月	1 0 月
失業給付金受給者実数（人）	9	7	7
失業給付金支給額（千円）	2, 6 2 8	1, 2 5 2	1, 4 7 8

※失業給付金受給者実数とは、当月中に失業給付金を支給した者の実数である。

（海事振興部 船員労政課）

◆ 管内新造船手持ち工事量

令和２年１０月末現在

区 分		隻 数	総トン数	載貨重量トン数
国内船	工事中	1	8,000	2,000
	未起工	0	0	0
輸出船	工事中	0	0	0
	未起工	0	0	0
工 事 中 計		1	8,000	2,000
未 起 工 計		0	0	0
手持ち工事量合計		1	8,000	2,000
前年同月比		100.0%	100.0%	100.0%

(注) ①総トン数2,500トン以上又は長さ90メートル以上の一般商船（旅客船を除く）で、建造着手予定届が提出された船舶もしくは臨時船舶建造調整法に基づく建造許可を受けた船舶を対象とする。

②[内訳] その他（液化水素運搬船） 1隻

（海事振興部 船舶産業課）

◆ 倉庫業の新規登録（令和2年10月）

【 事業者名 】 パック・ミズタニ株式会社

所在地	大阪府大阪市西区立売堀4丁目8番10号		代表者	代表取締役社長 水谷 博和	
倉庫の概要	倉庫の名称	PM第5ロジセンター			
	類 別	一類倉庫	位 置	西宮市山口町阪神流通センター1丁目18番	
	構 造	鉄骨造、角波鋼板（一部ALC版）張、亜鉛鉄板折板葺、2階建（準耐火建築物）			
	面 積	339㎡	登録年月日	令和2年10月8日	

【 事業者名 】 有限会社上西商店

所在地	兵庫県たつの市菅田町福田726番地		代表者	代表取締役 上西 馨	
倉庫の概要	倉庫の名称	有限会社上西商店 物流倉庫			
	類 別	一類倉庫	位 置	揖保郡太子町佐用岡字堂ノ後421番1、422番1、422番5、423番1、424番1、425番1	
	構 造	鉄骨造、角波サイディング張、ルーフパネル葺、平屋建（準耐火建築物）			
	面 積	1,326㎡	登録年月日	令和2年10月27日	

◆ 倉庫業の変更登録（新設）（令和2年10月）

【 事業者名 】 日本ポート産業株式会社

所在地	兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町16番地			代表者	代表取締役社長 岡田 貢
倉庫の概要	倉庫の名称	日本ポート産業株式会社 神戸住吉冷蔵倉庫			
	類 別	冷蔵倉庫(C3)	位 置	神戸市東灘区住吉浜町18番12	
	構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、ALC版張等、ガルバリウム鋼板葺、4階建（耐火建築物）			
	容 積	22,880㎡	登録年月日	令和2年10月15日	
倉庫の概要	倉庫の名称	日本ポート産業株式会社 神戸住吉冷蔵倉庫			
	類 別	冷蔵倉庫(F1)	位 置	神戸市東灘区住吉浜町18番12	
	構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、ALC版張等、ガルバリウム鋼板葺、4階建（耐火建築物）			
	容 積	51,871㎡	登録年月日	令和2年10月15日	

倉庫の概要	倉庫の名称	日本ポート産業株式会社 神戸住吉冷蔵倉庫		
	類 別	冷蔵倉庫(F3)	位 置	神戸市東灘区住吉浜町18番12
	構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、ALC版張等、ガルバリウム鋼板葺、4階建（耐火建築物）		
	容 積	1,728㎡	登録年月日	令和2年10月15日

【 事業者名 】 日本コンセプト株式会社

所在地	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号			代表者	代表取締役 松元 孝義
倉庫の概要	倉庫の名称	阪神支店 危険品倉庫④			
	類 別	危険品倉庫（野積）	位 置	神戸市中央区港島八丁目11番6	
	構 造	一			
	面 積	317㎡	登録年月日	令和2年10月29日	
倉庫の概要	倉庫の名称	阪神支店 危険品倉庫⑤			
	類 別	危険品倉庫（野積）	位 置	神戸市中央区港島八丁目11番6	
	構 造	一			
	面 積	113㎡	登録年月日	令和2年10月29日	

◆ 12月の行事予定

日 程	行 事 / 場 所	担 当 課
1 日(火)	近畿地方交通審議会神戸船員部会最低賃金部会（内航） ／ 神戸第2地方合同庁舎	海事振興部 船員労政課
10 日(木)	年末年始の海上交通輸送に関する安全総点検開始式 ／ 神戸三宮フェリーターミナル	総務企画部 安全防災・危機管理調整官
25 日(金)	近畿地方交通審議会神戸船員部会 ／ 神戸第2地方合同庁舎	海事振興部 船員労政課

（総務企画部 総務課）

◆ 11月の記者発表状況

日程	発表事項	担当部課
6日	「めざせ！海技者セミナー in KOBE」の参加事業者を募集します ～船員を目指す方への就職面接会・企業説明会～	海事振興部 船員労政課
13日	「お手伝いしましょうか」への第一歩 ～バリアフリー教室 in 姫路市立船場小学校～	企画推進本部 交通環境室

(総務企画部 広報対策官)

いよいよ師走、年末シーズンに差し掛かり
ました。

2020年は社会的に大きな変動が起こった
1年でしたが、皆さまが健やかに年越しを迎え
られますように！



神戸運輸監理部マスコットキャラクター「こうべえ」